

山行報告：尼ヶ禿山スノーハイクと榛名富士ハイキング

【日程】 2月8日（土）～9日（日）

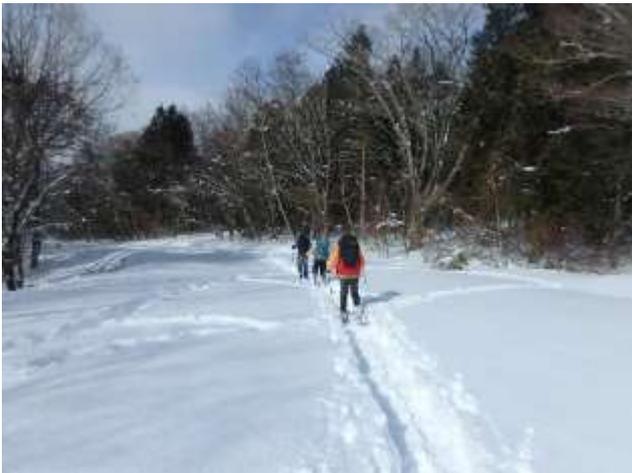
【参加者】 CL 柘植 室(記録) 飯田 海保

☆2月8日（土） 尼ヶ禿山 天気 雪後晴れ時々曇り

たんばらスキーパーク 10:20→東大セミナーハウス 11:25→12:50 尼ヶ禿山 13:15→14:50 たんばらスキーパーク



千葉から高速経由でたんばらスキーパークへ。駐車場に車を止めると、計画書を提出するよう係員に言われ、提出して歩き始める。駐車場から歩き出すのだがどこから行けるかよくわからず、しばしうろついたところ、駐車場の端っこから下へ降りたトレースが見つかり、その跡を歩き出す。風がやや強く寒い。水曜日あたりから降った雪が40センチくらい積もっており、先行者もそれほどいないのか、トレースをたどるもふかふかで歩きづらい。私以外の3人はスノーシューで潜り込まず、快適に歩けるようだ。平坦なのに結構疲れて先がおもいやられた。平坦な道を30分くらい歩いたら、前方から3人の登山者が歩いてきた。「もう山頂に登ったのですか？速いですね！」と声をかけたら、「いや、途中であきらめました」とのこと。間もなく、先ほどのパーティが諦めた場所へ到着。そこから傾斜が始まり、トレースがなかった。ここまででもトレースをつけていただいて、ありがたいことです。



先行者のありがたいトレースをたどる



東大セミナーハウス脇の登山口：この先トレースなし

先頭はリーダーTさん、ふかふかの新雪のためスノーシューの男性3人が先行、「室さんは最後でいいよ」「ええー！！そんな姫待遇ですか？やったーありがとう！」と登り始める。しかしTリーダーと男性3人は速くて、姫待遇にもかかわらず遅れながらついていくのがやっとな。トレースのない道は疲れます。

たまにズボッと深みにはまる。Tリーダー&男性たちと離れてしまったが黙々と登ると、雪庇の先の山頂に3人がいた。お待たせしたことを詫び、寒いので記念撮影をしてそそくさと下山開始。下りは遅れないつもりだったのに、ずっとワカンを履いていて足が疲れてももの付け根が痛くなり、必死だけどゆっくりついて行き、またも先行3人を待たせて駐車場にゴール。

ここについたら次に考えるのは温泉とビールのこと。16時半頃宿に着き、急ぎ温泉に入ってお待ちかねビールで乾杯！これが楽しくて山に登っているようなもの??

夕食は6時からで、とても美味しく量も多くてお腹がいっぱいになってしまい、食後宴会の続きをやるつもりだったのに、お腹がこなれてもう一回温泉に入って戻ったら、男性3人は撃沈済でした。



スノーシューで快適ラッセル



遠くに尼ヶ禿山のピークが見えてくる



山頂到着：左は雪庇だ



室さんの到着を待って記念撮影



途中まで登ってきたかわいいテリア犬



旅館での楽しい夕食

☆2月9日（日） 榛名富士 天気 晴



榛名湖ビジターセンター 10:00
→ロープウェイ山上駅 10:50
→11:00 榛名富士 11:15
→12:00 ビジターセンター

9日は本当は尾瀬西山に登るはずであったが、現地のお天気が悪く雪が降っていたため榛名富士に行き先変更。宿から2時間半ほど走って榛名湖の駐車場に車を止めた。そこにはビジターセンターがありトイレも借りられる。榛名富士は昔食べたお子様ランチのチキンライスみたいな形。日の丸の旗が似合いそうです。

風が強く寒いが日差しは暖かった。登山口はビジターセンターから50メートルくらい歩いた所があり、そこから急ではあるがまあまあ歩きやすい登山道に登る事50分で山頂かと思いきや、ロープウェイの終点であった。上りの登山道ではほとんど人に合わなかったが、ロープウェイは満員でけっこう人が上がってきていた。「みんなロープウェイでここまで来て、ちょっと歩いて山頂まで行くんだね」とリーダーが呟いた通り。山頂には富士山神社がありたくさんの絵馬にお願い事が書いてあったりしてちょっと俗な雰囲気。山頂からの眺めは素晴らしく、周囲の山々、榛名湖が眺められお手軽に登れて家族連れなどにも良さそう。来た道を下山し、そのまま高速に乗って一路千葉へ戻る。15時頃には千葉市内に到着し山の汚れ物も片付けられた。みんな宴会ができなかったのがちょっと心残りで、次回の山行でぜひ！と話して別れました。



